

その他の製造業－その他におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	9～10	配達先駐車場での商品積み下ろし時に、荷台から飛び降りたときにバランスをくずし、左足のふくらはぎを痛めた。	46	30～49
6	12～13	トラックの積み荷搬入中、荷台に乗って荷物を手前まで持っていったところ、足場があると見誤って、荷物を持ったまま受け身が取れず、1m位のトラックの荷台から落下した。	39	30～49
7	14～15	得意先からゴミ回収のため工場へ行き、確認したところ少量であったため回収せず、事業場へ戻るため軽トラにて移動。雨が降りそうだったので路上に車を止め荷台のシートを全面に掛けようと荷台に乗り煽りに腰を掛け引っ張ったところ、毛布を入れてあるボックスの下に挟まっていたビニール部分が突然取れ、その反動で路上に落下。その際頭部を打ち負傷。	58	10～29
7	9～10	飼料の配送業務終了後、ミキサー車（配送用車両、10t車）の飼料掃き出し口（放出口）の清掃中、掃き出し口が地上約1mの後輪の近くに位置していた為、後輪に足を掛けた姿勢でスコップを使用し清掃していたところ、降雨により地面が泥っていた為、軸足が滑り、姿勢を崩してよろけた際、左胸が掃き出し口に入ってしまう、そのままの姿勢で体重が掛かり骨折したものである。	67	1～9
9	9～10	木材加工工場のオガ粉を貯蔵するサイロからダンプトラックにオガ粉を積み込み作業中に、何らかの原因で転落、積み込みは完了していたので、残る作業はサイロの扉を閉め荷台にシートを張るのみであると思われるが、当日朝は雨が降って車体も濡れてすべりやすく、なおかつ、積荷のオガ粉の上という足場が不安定で高所の作	60	10～

		業であるにも関わらず、携行していたヘルメットを装着せず作業していた、本人の意識がないので断定はできないが、濡れた車体で足をすべらせて落ちたのではないかとと思われる。		29
9	8~9	会社の敷地内（堆肥工場）にて堆肥を運搬する10tトラックの鉄板取り付け作業の手伝い（修理）をしている時に、鉄板を乗せていたパレットを荷台の中の方から後ろの方へ引っ張る際に、パレットが割れてその勢いで下へ落ちた、鉄板を乗せてパレットが腐っていることに気付かず、鉄板を乗せる前にパレットの点検をしておくことが必要だった。	43	30 ~ 49
10	7~8	出勤し、タイムカードを打刻後、作業現場に向かって歩いていた。トラック（2トン車）の横を通過していたときに、ゴミが落ちていたため拾っていたところ、トラックが発進し、トラックに巻き込まれて負傷した。	51	10 ~ 29
10	8~9	会社倉庫前で、トラック荷台に製品を積み込む作業中に、足を滑らせ、転落した。その際、左手を地面に打ち、手首を骨折した。	43	30 ~ 49
10	15~16	固場にて、堆肥を散布するため、堆肥入りフレコン（500kg）をユニックで散布車に入れる作業をしていた。ユニック車荷台より散布車へ乗り移る際に足を滑らせ、ユニック車荷台のドアの支柱に接触し、ユニック車と散布機のすきまに落下し脇腹を骨折した。	59	10 ~ 29
12	17~18	トラックからトラックへ自動販売機の積み替え作業のため、トラックの荷台に上っていた。夕暮れ時であったため薄暗かったせいもあり、バランスを崩してトラックの荷台から転落してしまった。その際、まず右足が地面に着き、そのまま捻って倒れ込み、右膝を負傷した。	38	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html